

令和元年度

「こうふまちづくりラウンジ」報告書

「女性が住み、働き、活躍するなら、こうふ」

～ まちづくり推進にむけて ～

令和2年3月

こうふまちづくりラウンジ

# 目 次

◇ はじめに	2
◇ 活動の記録	3
◇ 活動の様子	4
◇ 提案一覧	5
◇ 提案内容	
・女性の活躍推進全般についての提案	6
・活躍の基盤となる健康維持についての提案	10
・将来の基盤となるキャリア教育についての提案	12
・多様な働き方の一つである起業についての提案	14
・働き方改革や子育てと仕事等との両立についての提案	16
・地域社会における女性活躍についての提案	19
◇ まちづくりラウンジ委員の交流について	21
◇ 委員の感想	22
◇ 委員名簿	24

## はじめに

甲府市では、市が目指す都市像である「人・まち・自然が共生する未来創造都市甲府」の実現に向け、2019年度から2022年度までの4年間、重点的かつ計画的に推進する「こうふ未来創り重点戦略プロジェクトNEXT」が策定されました。このNEXTでは、市長が政策提言に掲げた「市民の笑顔とまちの元気」あふれるまちづくりにつながる新たな取り組みや拡充を行うとしています。

私たちが、今回、参加した「こうふまちづくりラウンジ」は、この取り組みの中の一つに位置づけられており、市内で就労や活動をする様々な分野の女性たちが集り、交流する機会を創出することにより、女性の視点や感性で意見交換を行い、その結果を報告するとともに、参加者相互の連携促進とネットワーク構築の形成を図ることを目的に設置されました。

令和元年度の「こうふまちづくりラウンジ」は、9月27日に樋口市長から委嘱を受けて第1回の「ラウンジ」がスタートし、『「女性活いきのまち」を創る』を大きなテーマとして「健康」「キャリア教育」「起業」「就労（仕事と子育て等との両立、キャリアアップ、再就職）」「地域参画」「農業」などについて3回の意見交換を行いました。職場や地域で女性の抱える課題やあり方、市に取り組んでほしいこと、私たちにできることなど、毎回時間が足りないほどの意見交換がなされました。

半年という短い期間でしたが、このラウンジを通して、私たち自身が、社会や産業、企業の様子、教育の現状、地域活動、様々な分野の女性の仕事と職場の様子などを改めて学び、考える、大変よい機会ともなりました。そして、そこに暮らし働く女性がどうすれば生き生きとできるか、日頃感じていることを本音で話し合うことができました。

この会の開催にあたり、市と主管する人権男女参画課から「ラウンジ」という堅苦しくない会の名称や会場づくりや形式張らない進め方を設定していただいたことで、会での活発な意見交換とメンバーの和やかな交流につなげることができました。

ここに、この「ラウンジ」で話し合われた提案を報告します。この報告書は、10人のラウンジメンバーが、主体的な参画プロセスの中で話し合い、まとめたものです。この中の一つ一つが、今後、女性市民の意見として市政の中で配慮、検討され、市政に反映していただけることを期待します。

そして、私たちもこのラウンジで築いた様々な分野のメンバーとの繋がりを活かしながら、職場や地域で、女性の活躍のために、そして、よりよい甲府市づくりのために、小さくてもできることを一歩ずつ進めていきます。

令和2年3月6日

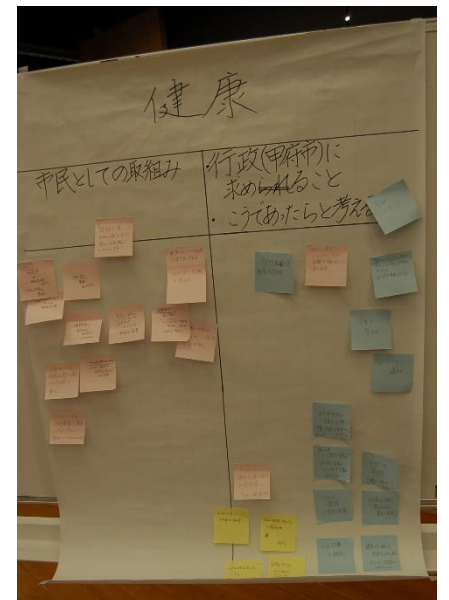
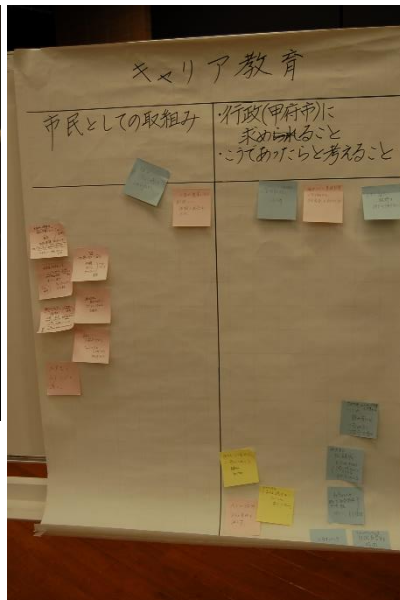
「こうふまちづくりラウンジ」

委員長 星野真理

## 活 動 記 録

- 令和元年9月27日（金）  
委嘱状交付式  
令和元年7月1日に策定された「こうふまちづくりラウンジ設置要綱」に基づき、ラウンジが設置され、甲府市長から委員10名が委嘱状を交付される。  
第1回「こうふまちづくりラウンジ」開催
  - (1) 事務局による女性の活躍促進についての概況説明
  - (2) 委員による意見交換  
テーマ：「女性の活躍の現状と課題」
  - (3) その他
  
- 令和元年11月27日（金）  
第2回「こうふまちづくりラウンジ」開催
  - (1) 委員による課題説明と意見交換  
テーマ：①「健康」  
②「キャリア教育」  
③「起業」
  - (2) その他
  
- 令和2年1月29日（水）  
第3回「こうふまちづくりラウンジ」開催
  - (1) 委員による課題説明と意見交換  
テーマ：①「就労（仕事と子育て等の両立）」  
②「地域における男女共同参画」  
③「農業」
  - (2) 報告書について
  - (3) その他
  
- 令和2年3月6日（金）  
第4回「こうふまちづくりラウンジ」開催
  - (1) 市長への報告書の提出
  - (2) 委員による説明と質疑応答
  - (3) その他

## 活動の様子



# 「女性が住み、働き、活躍するなら、こうふ」

## まちづくり推進に向けた提案一覧

No.	分野	提案項目
1	全般	市民等との連携による、SDGs を用いた、「男女共同参画推進都市甲府」実現に向けた普及啓発の充実
2	全般	女性の活躍推進に向けた、学習や交流、ネットワークづくりの拠点となる施設の機能強化
3	全般	広報の工夫による、甲府市女性活躍支援サイト「なでしこ Plus」の認知度向上
4	全般	市民の視点に立った印刷物の作成や窓口でのサービス向上
5	健康	企業や市民等との連携による、「健康都市甲府」実現に向けた市民意識の向上
6	キャリア教育	民間活力の積極的活用や時代に合わせた内容による、キャリア教育の充実
7	起業	起業当事者(希望者)の声や意見を踏まえた、情報提供等の充実
8	働き方改革の推進	企業や団体等との連携による、「働き方改革推進都市甲府」実現に向けた体制の強化
9	子育てと仕事等の両立	子育て支援人材の質の向上と活動の活発化
10	地域における女性の活躍	地域社会における女性の活躍に向けた取り組みの強化

※上記の提案以外の意見等については、各分野の次ページにまとめて記載している。

## 提案の具体的な内容

### ○女性の活躍推進全般についての提案

<b>1 提案の名称</b> No.1 市民等との連携による、SDGs を用いた、「男女共同参画推進都市甲府」実現に向けた普及啓発の充実
<b>2 提案の目的・理由</b> 近年、社会情勢が大きく変化し、男女共同参画社会の実現が益々重要となっている。こうした中、国は、SDGs の目標やターゲットに示される多様な項目の追及が、日本の各地域における諸課題の解決に貢献し、地方創生を推進するものであるとしている。甲府市が、男女共同参画を進める上で課題である人権の尊重や女性・子どもに対する暴力の根絶、男女が支えあう家庭づくり等は、この SDGs の目標である、No.5 の「ジェンダー平等」等と合致するところである。 市においては、男女共同参画の推進に向け、「甲府市男女共同参画推進委員会」等が様々な事業を実施しているが、男女共同参画社会の実現に向け、この SDGs の考え方をを用いて普及啓発を実施することが効果的である。
<b>3 提案の内容</b> ① 次回策定の「こうふ男女共同参画プラン」の該当する項目の中に、SDGs の考え方を踏まえた文言を盛り込み、施策を推進する。 ② SDGs の「ジェンダー平等の実現」等の目標達成に向け、市民等が自分ごととして身近に捉え、行動するよう、普及啓発を積極的に実施する。 ③ 市事業に係るチラシ作成や HP 掲載、啓発事業実施の際に、SDGs のシンボルマークやロゴ、一言メッセージ（例：「〇〇課では SDGs #5 ジェンダーに取り組んでいます」など）などを印字して、市の取り組みを広く伝える。
<b>4 提案の実施により期待できること</b> ①プランに位置付けることにより、SDGs と市の施策との関係性が明確になるとともに、推進が図れる。 ②市民等が SDGs への理解と関心を深め、持続可能な社会に向けた取り組みの実践者になる。 ③市の取り組みを発信する機会となる。また、市と市民等が価値観を共有することとなり、パートナーシップの推進に役立つ。
<b>5 提案の実施にかかる費用（想定）</b> 男女共同参画推進委員会活動等を通じて実施できるので、予算を要しない。

<p><b>1 提案の名称</b></p> <p>No.2 <b>女性の活躍推進に向けた、学習や交流、ネットワークづくりの拠点となる施設の機能強化</b></p>
<p><b>2 提案の目的・理由</b></p> <p>甲府市においては、市内相生に「甲府市男女共同参画推進センター」が整備されているが、女性活躍のさらなる取り組みが図られている昨今、拠点機能の強化は重要な事項と考えられる。</p> <p>ここを拠点に、女性の活動の活発化がより一層図れるよう、取り組むことが大切である。</p>
<p><b>3 提案の内容</b></p> <p>① 女性活躍のさらなる推進に向け、拠点となる甲府市男女共同参画推進センターの周知を積極的に行い、利用者の増加を図るとともに、女性団体等とも協働した女性の交流や情報交換が行える場づくりが進められるよう、取り組む。</p> <p>② 中高生や大学生から大人までを対象に、月替わりのテーマによる、『なでしこカレッジ』を開催し、学習や交流、ネットワークづくりの機会創出とする。</p> <p>③ 定期的にキャリアカウンセラー（キャリアコンサルタント）等から、子育てと仕事の両立に悩む人の就業継続に関するカウンセリングやキャリア形成に関する相談、再就職に向けたスキルアップの相談等が受けられる『キャリアカウンセリング』の取り組みを実施する。</p>
<p><b>4 提案の実施により期待できること</b></p> <p>① 団体や個人の活動が行いやすく、情報も得やすくなり、活動が活発化する。</p> <p>② 女性のキャリアアップのための学習や情報入手、交流のプラットフォームとなれる。</p> <p>③ 相談者にとっては、悩みの解消や将来のキャリア形成に役立つ機会となる。</p> <p>キャリアカウンセリングについては、女性スタッフや女性カウンセラー等が対応することで、子どもを同伴しても安心でき、相談がしやすくなる。</p>
<p><b>5 提案の実施にかかる費用(想定)</b></p> <p>既存の事業との組み換えや場所の変更等の工夫を行えば、予算の軽減が図れる。</p>



<p><b>1 提案の名称</b></p> <p>No.3 広報の工夫による、甲府市女性活躍支援サイト「なでしこ Plus」の認知度向上</p>
<p><b>2 提案の目的・理由</b></p> <p>「なでしこ Plus」については、委員の多くが知らなかったように認知度の低さが懸念される。女性の活躍に係る様々な情報が掲載されており、多くの市民に見てもらうことが大切である。周知にむけ、一層の取組みが必要である。</p> <p>本サイトには、情報を追加し、読み手に取って、有益なものに更新していくことが求められることから、情報収集を行うにあたり、民間と協力することが有効である。</p>
<p><b>3 提案の内容</b></p> <p>① 「なでしこ Plus」のQRコードをカードにして、公共施設やスーパーマーケット等の女性トイレに設置する。また、広報「こうふ」にも、継続的にサイトの紹介を行う。</p> <p>② 『なでしこレポーター』を起用し、市と協力した情報収集や取材内容の検討等を行う。</p>
<p><b>4 提案の実施により期待できること</b></p> <p>① 女性トイレは利用率が高く、カードであると持ち帰りも出来ることから、効果的に周知することができる。将来的には、民間施設にも協力いただけるよう働きかけることで、さらなる効果が期待できる。</p> <p>② 情報発信に協力してもらうことで、なでしこ Plus の内容が充実し、閲覧者数が増加する。</p>
<p><b>5 提案の実施にかかる費用（想定）</b></p> <p>① カード作成の予算化を行うことが必要となる。</p> <p>② なでしこレポーターには、ボランティアで活動していただくこととし、交通費程度が見込まれる。</p>

<p><b>1 提案の名称</b></p> <p>No.4 市民の視点に立った印刷物の作成や窓口でのサービス向上</p>
<p><b>2 提案の目的・理由</b></p> <p>① 市が作成している「健康ガイド」については、現状の記載では、読みにくいと思う人もいますので、多くの方に読んでいただき、受診率の向上にもつながるよう、工夫改善が必要である。</p> <p>「子育てガイドブック」についても、情報量が多く、作成にあたって、大変手間がかかっていることと拝察するところであるが、年齢や個々のニーズといった市民目線による見やすさ、わかりやすさが大切なことから工夫する必要がある。</p> <p>② 市外・県外からの転入（移住）者の窓口対応においては、書類一式の手渡しとごみ処理方法の伝達程度となっている。知りたい情報について、それぞれが抱える状況もくみ取りながら、丁寧に対応する必要がある。</p>
<p><b>3 提案の内容</b></p> <p>① 「健康ガイド」、「子育てガイドブック」については、「どこを読めば」とか、「何があるのか」といった視点から、読み手にとって、必要な情報を得られるような記載内容（ロールプレイング方式の採用や受診アドバイス等）を加えていく。</p> <p>② 転入（移住）者の窓口対応に当たっては、「小さい子どもがいる」とか、「障がいを持っている」とか、「介護を必要としている」等、個々のニーズを勘案しつつ、必要な情報が的確に届くようなきめ細かい対応（配慮）を行う。</p>
<p><b>4 提案の実施により期待できること</b></p> <p>① 市民へのわかりやすい情報の発信が可能となる。</p> <p>② 市民の立場に立ったより質の高いサービスが提供できる。</p>
<p><b>5 提案の実施にかかる費用（想定）</b></p> <p>①②とも、予算はあまりかからない。</p>

## ○活躍の基盤となる健康維持についての提案

<b>1 提案の名称</b> No.5 <b>企業や市民等との連携による、「健康都市甲府」実現に向けた市民意識の向上</b>
<b>2 提案の目的・理由</b> 女性の検診は大事なことであるが、忙しさや煩わしさ等から、受診に至らず、本市は全国と比較しても高いとはいえない状況にある。このため、 ①受診に対する意識向上に向け、社会全体で一層取組みを行う必要がある。 ②市民が参加しやすく、健康に役立つアイデアを考えることが必要である。 ③企業においては、昨今の厳しい労働環境を背景に従業員の健康保持・増進を促す取組みが一層求められることから市として推進に向け取り組む必要がある。
<b>3 提案の内容</b> ①『甲府市女性健康週間』（3／1～3／8）を設定し、関係機関や家庭、市内企業を多く巻き込んだ大規模な啓発事業を実施する。 ②健康イベントやウォーキング＋甲府史跡めぐり、フットパスなどのイベントを多く開催し、参加者がポイントのため、特典や景品をもらえるように工夫する。 ③企業には、社員の「健康経営」の視点が必要である。国に、中小企業でも始められる認定制度もある。甲府市において、この導入若しくは企業への働きかけを実施する。
<b>4 提案の実施により期待できること</b> ①集中的に実施、発信等を行うことで、市民意識の高揚や受診促進が図れるとともに、関心を高めることができる。心のケアやDV被害者のケアも同時に行うことで、さらなる効果が期待できる。同時に企業（例：UTYのピンクリボンキャンペーン）や関係団体の協力を得ることで、官民協働による健康まちづくりが実現できる。 ②市民のモチベーションが上がり、自主的に参加する機会が増え、健康意識が高まる。 ③従業員にとって、働きやすい職場となるとともに、取組みが評価される企業にとっては、採用力の強化や生産性の向上、社外イメージアップ等のメリットとなる。
<b>5 提案の実施にかかる費用（想定）</b> ①既存の事業を活かしつつ、あまり多くの予算を要しないで、実施出来る可能性がある。 ②多くの予算がかからないよう、工夫できる。 ③助言のみで、予算はかからない。

## No.5 以外に出された意見

### (市民に求められること)

- ・自分自身が、健康な生活を送るため、「適度な運動」、「バランスの良い食事」、「十分な睡眠」を実行することが大切である。
- ・介護予防も重要である。高齢者の意識を高めること、家庭内でよく話し合うことが必要である。

### (企業に求められること)

- ・介護理由での退職者がいたことから、フレックス制を導入したものの社内での理解が難しいことを実感した。今後、利用の増加が見込まれる介護休暇に対し、業界や社会全体で理解促進を図れる取組みが必要である。

### (甲府市に求められること)

- ・市として、機会を捉え、企業における安全衛生委員会への女性参加促進（女性比率増加）や小規模企業におけるそうした趣旨の会議設置を呼びかけたらどうか。
- ・介護保険制度は本人だけでなく、家族の準備にも使えるが、本人しか使えないといった認識を持っている人が多い。周知方法や内容を工夫する必要がある。
- ・女性の不妊問題は、認識した際には年齢がネックとなり対応が難しくなる場合もある。若いうちにもっと学ぶ機会を設けたらどうか。
- ・小さい子どもを持つ母親の受診が促進されるよう、健診時のあかちゃんの託児をやっていないようであれば実施したらどうか。
- ・気軽に健康相談ができる「まちなか保健室」のような場所がもっと増えるよう、支援（広報）したらどうか。
- ・子どもの予防注射や検診等を知らせるアプリ（「すくすくメモリーズ」）が一層、活用されるよう、周知を図る。
- ・今後ますます利用が増える地域包括支援センターのスタッフの充実と、多くのケアマネジャーの配置をお願いしたい。

## ○将来の基盤となるキャリア教育推進についての提案

<b>1 提案の名称</b> No.6 民間活力の積極的活用や時代に合わせた内容による、キャリア教育の充実
<b>2 提案の目的・理由</b> ① 教育内容が増加し、教員の労務環境は厳しい状況にある。一方で、市内には、各分野に素晴らしい人材が多く存在する。 将来を担う子どもたちの育成に、地域で活動している方々に、より多く参画していただくよう、一層取り組む必要がある。 ② 文部科学省の調査によると、「高校の時に知っておきたかったこと」の一番に、就職後におけるリスクマネジメントを挙げているという結果がある。就職後1～3年以内の若年層の離職者が多い中、切実な問題となっている。
<b>3 提案の内容</b> ① 「キャリア教育」の地域人材活用の取組みについては、導入している学校もあるが、様々な人材について、教員が十分な情報を有してはいない状況にあることから、市の教育委員会によるネットワークづくりやルールづくりを行うとともに、改善点は他校でも活かす等のフォローをする。市教育委員会は、この制度設計を進めながら、キャリア教育への地域の協力を指導・助言する。 ② 市内の高校や専門学校、大学等において、学生が就職後、知っておくべき、労働法制、給与の仕組み、労働保険制度、失業、転職、年金などについて、キャリア教育の中に「リスクマネジメント」を盛り込むよう、市として助言する。
<b>4 提案の実施により期待できること</b> ① このような取組みが、真の「コミュニティスクール」を作る土台となり、教育課程や行事の検討の中で、地域から「これは手伝える」との声が上がるようになる。 ② 離職の防止や、仮に離職しても次の就職に向けた行動への開始、正規就労の考え方の参考となる。引きこもりを少しでも抑止することが期待できる。
<b>5 提案の実施に掛かる費用（想定）</b> ①②とも、予算は、ほとんどかからない。

## No.6 以外に出された意見（キャリア形成を含む）

### （市民に求められること）

- ・子どもたちをほめる機会をたくさん作ってあげたい。
- ・幼児期に、自己肯定感を作ることの大切さに気付くべきである。
- ・子どもに、将来に向けた幅広い視野を持たせてあげたい。
- ・子どもたちは、様々な活動に忙しいが、キャリアについて自問自答する時間を持つ必要がある。

### （企業に求められること）

- ・子どもたちのキャリア教育やキャリア形成に積極的に関わってもらいたい。
- ・人材を管理する側（特に中小企業）に、従業員のキャリア形成や人材育成についての研修が必要である。

### （甲府市に求められること）

- ・大学生を実社会への協力やボランティアに活用してほしい。若い人の考えを提供してもらうため、大学生の活動、活躍の場をもっと広げてほしい。
- ・中小企業は独自ではキャリアアップの制度整備が難しいので、社労士さん等の支援の機会がより多く得られるとありがたい。
- ・優良事業者表彰の受賞は企業にとって、励みになる。
- ・成果型のインターシップを導入する必要がある。併せて、企業や公的施設だけでなく、山梨の農業をもっと知る体験機会の提供が必要である。
- ・学校や市で子ども達を褒める仕掛けを沢山作る。→自己肯定感の醸成  
各校、各学級で行っていると思うが、更に市でも充実させてもらいたい。
- ・将来の人材を育成する教育にはお金を掛けてもらいたい。様々な機会の提供を行ってほしい。教育とは機会を与えることであると考えて。特に、個人でなかなかできないことへの支援を幅広く望む。（国際交流、短期・長期海外留学、月単位の長期インターンシップなど）
- ・企業等の管理者に、正規・非正規従業員面接（業務、条件、健康、検診、休暇、要望）の拡充と充実に向けた体制づくりの声かけをしてほしい。

## ○多様な働き方の一つである起業の推進に係る提案

<b>1 提案の名称</b> No.7 起業当事者（希望者）の声や意見を踏まえた、情報提供等の充実
<b>2 提案の目的・理由</b> ① 起業については、増加傾向にあるものの廃業や短期に終わるものも多く、その課題や実態把握を行っていない現状がある。 このため、実際に起業している女性たちのニーズ把握や事業の継続実施に向け、取り組んでいくことが重要である。 ② 今年度から、実施している起業セミナーについて、成果の検証を行い、より良い内容となるよう、改善を図ることが大切である。
<b>3 提案の内容</b> ① 市内で開催されるマルシェや福祉部門、農業部門等で起業している方に対し、機会を捉え、アンケート調査を実施し、課題分析等を行い、その成果を「女性のための起業等セミナー」の開催等に活かす。また、より多くの成功事例等を、甲府市女性活躍支援サイト「なでしこ Plus」で発信することにより、活動を支援する。 ② 「女性のための起業等セミナー」の事業の振り返りを行い、それらを踏まえ、来年度の事業計画を作成する。
<b>4 提案の実施により期待できること</b> ① 課題等に対応したセミナー開催となる。また、「甲府市女性活躍支援サイト・なでしこ Plus」の掲載内容が充実し、閲覧者が有益な情報を得られる。 ② 起業セミナーの実施内容が、より良いものとなる。
<b>5 提案の実施にかかる費用（想定）</b> ①②とも、予算はほとんどかからない。
<b>6 その他</b> アンケートの実施にあたっては、主催団体等に協力をお願いし、円滑にできることを目指す。

## No.7 以外に出された意見

### (市民に求められること)

- ・夢だけでなく覚悟が必要である。

### (甲府市に求められること)

- ・起業のサイトの内容をさらに充実させ、初心者でも分かりやすく有益な情報（具体的な事業計画の立て方、顧客の見込み方、必要な資金の捉え方や集め方、必要な手続き、成功に向けた留意点等）を掲載することが必要である。これにより、一般市民が具体的に様々な情報を入手でき、起業のきっかけともなる。
- ・志はあっても、事業計画を作れないパターンが多いので、そこをフォローする仕組みがあるといい。（あっても届いていない可能性がある。）
- ・個人事業主として、安定的に活動している女性たちとの交流や話を聞く機会の定期的開催が必要である。
- ・農業分野について女性が担う場面は多く、起業も大きな意味がある。支援できることについて検討して欲しい。
- ・チャレンジショップ（数ヶ月、無料で場所を貸してもらえる）に参加できるといい機会となる。
- ・市は「人を集める」というスタンスから、必要のあるところや興味関心を持つところに「出て行く」というスタンスをもっと持つべきである。（これは、役所の仕事、全てにいえる。）
- ・若い人が多いベンチャー企業の創設の支援や誘致をしてほしい。
- ・市庁内に、IT や IoT に強い職員を多数採用して、様々な支援や対応ができる人材を育成してほしい。



## ○働き方改革や子育て・仕事等との両立推進についての提案

<b>1 提案の名称</b> No.8 <b>企業や団体等との連携による、「働き方改革推進都市甲府」実現に向けた体制の強化</b>
<b>2 提案の目的・理由</b> ① 市内の企業は、中小の企業を中心に、行政の支援制度や働き方改革の取り組み等をよく知らない。また、近年、若い女性が、「希望する就職先がない」を理由に、多く転出していることから、市内企業全体が連携し、働き方改革を進めることで、従業員が働きやすい環境の整備を促進させるとともに、その成果も踏まえた甲府市で働くことの優良性をPRし、人材確保面からも女性の転出を抑制する必要がある。 ② 企業（特に中小企業）にあつては、補助・助成制度の専属の担当社員を設置することが困難な場合が多く、有益な支援制度の情報を得ても、申請手続きが複雑且つ細かいことから、書類作成を途中で断念することも見られる。その大変さから、社会保険労務士や行政書士を利用すると手数料がかかり、財務負担となっている。
<b>3 提案の内容</b> ① 経済界・企業と連携した市内全域での「働き方改革」を推進するため、甲府市、甲府商工会議所、経済団体、市内企業等をメンバーとする、『甲府市働き方改革推進会議』を設置し、情報交換や意識啓発、情報発信を行う。併せて、その内容を「商工会議所だより」や「中小企業団体中央会の会報誌」、移住関係や就職説明会等のイベントで周知する。また、相談会を開催し、企業の課題に合致した提案を行うことで、企業における実践的な取り組みをサポートする。 ② 企業が、制度利用を行うにあたり、甲府市内の社会保険労務士等を利用した場合に一定の補助を行う制度の創設を検討する。
<b>4 提案の実施により期待できること</b> ① 中小企業にとっては、セミナーの開催等、情報が一元的に得やすくなる。働き方改革に市を挙げて、取り組む機運の醸成と実践につながる。また、若い女性が市内の企業に関心を持つ機会創出となる。 ② 企業が支援制度を利用しやすくなり、企業内改革が進行する。
<b>5 提案の実施にかかる費用（想定）</b> ① あまり多くの予算を要しないで実施できる。 ② 一定の予算措置が必要となる。

## 1 提案の名称

No.9 子育て支援人材の質の向上と活動の活発化

## 2 提案の目的・理由

- ① ファミリーサポートセンターは、協力会員になるにあたって、保育士資格等の必要はなく、一定の養成講座を経て、会員になるとされており、市では、登録時に保健師等が、3～4時間の講習を行うとともに、AED講習を定期的に行っている。しかし、この協力会員の登録数は近年、頭打ちとなっているとともに、子どもを取り巻く環境に様々な事象や世代の変化等がみられることから、会員の確保と会員のスキル向上が求められる。
- ② ひとり親家庭の親たちの中には、様々な悩みを一人で抱えているにも関わらず、相談機関を知らなかったり、相談を躊躇し、孤立している人が見られる。

## 3 提案の内容

- ① 協力会員の確保に向けて、子育て応援団体等と連携し、周知の拡大を図るとともに、協力会員のスキル向上に向けて、ヒヤリハットの共有や子どもに係る「看護の基礎知識」等のテーマによるステップアップ講習を定期的に行い、活動の活性化と質の向上を図る。  
この開催が大変な場合には、市で行っている保育サイドの講習等への案内を行うことも有効である。
- ② ひとり親相談員等が様々な相談に応じるにあたって求められる幅広い内容に対応できるよう、知識・情報のさらなる取得に努めるとともに、家庭へのチラシ配布等により相談窓口の周知徹底を図る。

## 4 提案の実施により期待できること

- ① 協力会員数が増加することにより、利用者の利便性やサービス向上につながる。また、登録会員のスキル向上により、支援を受ける子ども達への対応力が向上する。さらには、安心して子育てができることは、出生率の向上につながる可能性があり、活気ある甲府市の実現の一役にも成り得る。
- ② ひとり親相談員の対応力が向上するとともに、ひとり親家庭の孤立の防止につながる。

## 5 提案の実施にかかる費用（想定）

- ①②とも、予算はほとんどかからない。

## No.8、No.9 以外に出された意見

### (市民に求められること)

- ・家庭内の家事や育児、介護に、男性の理解と協力がなければ、女性が同等に働くことは期待できない。男性がそれらを行うことが‘当たり前の社会’を作っていく必要がある。

### (企業に求められること)

- ・企業のトップには、目先の利益だけでなく、将来を考えた人材育成と優秀な人材の確保、ワークライフバランスの推進が求められる。(多数)
- ・企業内で、従業員に利用できる様々な支援制度を周知徹底する必要がある。
- ・企業において、従業員向けに、子育てを社会全体として支援する風土を醸成することも必要である。
- ・企業においては、先進的に育児休業やテレワークを推進してきた企業の発表を聞く機会を設けることも有効である。
- ・企業においては、女性のロールモデルや管理職を育てる意識と実行が必要であり、そのために計画的・効果的に取り組む必要がある。
- ・女性に働く機会を、男性に家事・育児・介護の機会を、同等に与えてほしい。

### (甲府市に求められること)

- ・中小企業は、セミナーの開催や支援策がわからない場合が多い。情報を共有できる場や仕組みがあるといい。(多数)
- ・経営者の意識改革を促進する取り組みがあるといい。(多数)
- ・市においては、経済界や各組合等の会合の際に、短時間参加して、支援制度等の説明を行うと周知でき、効果的である。
- ・男性は、子どもとのふれあい方や家事のやり方をよく承知していないことが見受けられる。市でも、男性の家事・育児参加の推進に、もっともっと力を入れてほしい。併せて、高齢者が子育てを支援する取り組みが強化できると良い。
- ・2027年のリニア中央新幹線の営業運転開始に向けて、働き方として、若者(20～30代)の「リニア通勤」を視野に入れた施策を考えておく必要があるのではないか。リニア開業をうまく利用することが重要だ。

### (子育て支援に関するその他の意見)

#### (甲府市に望むこと)

- ・子育て支援、介護支援の一つとなるよう、オムツを指定ゴミ袋だけでなく、中身の見えるビニール袋でも回収可能としてほしい。
- ・出産祝い金の制度を充実させれば、出生数の増加につながる可能性がある。
- ・「子育て・お助け隊」のようなシニア女性による子育て支援への参加は、今後も益々、重要となる。民間で、「他孫(たまご)育て」を支援する活動も行われている。こうした取り組みも参考に、高齢者による活動の拡大を図ってほしい。

## ○地域社会における女性の活躍についての提案

<b>1 提案の名称</b> No.10 <b>地域社会における女性の活躍に向けた取り組みの強化</b>
<b>2 提案の目的・理由</b> 近年、少子化・高齢化、人口減少等により、地域を取り巻く環境が変化している。そうした中で、女性が地域課題の解決に向け、活動を求められる場面が多くなっている。 ① 防災について、災害が発生した場合に、的確に対応できることが必要である。地域住民が行う情報収集についても、住民が近隣の様子を確認できるコミュニケーションが大切である。 ② 農業について、女性が家事等を行いながら、担っているケースもみられることから、家族の理解・協力が必要である。地域やJA等とも連携し、生産物の価値や農業・農村のすばらしさを子どもたちはもとより、全国の移住希望者等に向け、強力に発信していく必要がある。 ③ 甲府之証として、地域で生産される果実の規格外品を活用した冷菓が認定されたことから、6次産業としても認知度向上や情報発信をさらに行う必要がある。
<b>3 提案の内容</b> ① 自治会等に対し、住民の理解を得たうえで、日頃からのグループラインの利用が近隣家庭の留守の確認等に有効であるとか、地域防災力向上に向けた先進的取り組み事例についての助言や情報提供を一層、実施する。 ② 家族経営協定の締結が進むよう普及啓発を行うとともに、地域住民参加の農業をテーマとしたイベント開催を支援し、農業に対する理解促進を図る。 ③ 認定された冷菓の認知向上と消費拡大に向け、広く広報を実施する。
<b>4 提案の実施により期待できること</b> ①地域防災力の一層の向上につながる。 ②農家における仕事としての農業の意識改革を促進する。農業の素晴らしさを地域全体で考える機会となる。 ③こうした認証制度のさらなる取り組みと活用が、今後も農業女性のアイデアが生かせる場となる可能性がある。
<b>5 提案の実施にかかる費用（想定）</b> ①②③とも、予算はかからない。

## No.10 以外に出された意見

### (市民に求められること)

- ・地域においては、「男だから」とか、「女だから」という考えに拘らない強い気持ちで、役職等を引き受け、受け入れることが大切である。
- ・地域のつながりが作れる3世代イベントを多く実施するのが良い。
- ・地域活動については、面倒と思っている人や転居者にいかに参加してもらうか、難しいところがある。声のかけ方等を工夫して、参加を促すことが重要である。

### (甲府市に求められること)

- ・自治会の入会数が減少する状況を踏まえ、防災面等を切り口に、自治会の大切さや必要性を市民に理解してもらう取り組みが必要。
- ・防災業務に携わっていると、非常時の子どもの預かりが気になりになる。安全に保育できるスペースが確保されると安心できる。
- ・農業委員について、女性の意見が反映されるよう、人数をさらに増加することが求められる。
- ・農業は、大変なイメージがあるが、近年、器具の軽量化やアシストスーツの登場により、作業が行いやすくなるとともに、ピンクの軽トラックやおしゃれな作業衣等、見た目も変化している。農業のアピールにおいては、産地の素晴らしさと併せ、こうした農業を取り巻く環境に関する情報も広く発信していく必要がある。
- ・農業で、若い人や移住者とのコラボができる気軽なネットワークや仕組み、会があるとよい。あるのであれば、年配の農業従事者にも情報を提供してほしい。
- ・農業のIT化など、農家と就農希望者や分野の違う企業も含めて、農業の第6次産業化に向けた講演会などを実施してはどうか。(時期は農閑期に。)農政課にこのような研究・指導を願いたい。

## こうふまちづくりラウンジ委員の交流について

令和元年度「こうふまちづくりラウンジ」に委員として参加した10名は、異分野での就労や活動、その現状や課題、取り組みや苦勞に触れることによりお互いを知り、「人の繋がり」という大きなものを得て、以下のように、交流を続けることを申し合わせました。

今後も、この繋がりを大切にして、それぞれの仕事や活動に活かし、また、女性の活躍推進のため、甲府市の発展のために、協力していききたいと思います。

### 1 市を含めた広報に関する連携促進

市やNPO、各種団体においては、活動の中で制度やイベント周知を図るため、チラシを作成し、配布することが多くあります。この配布に関しては、それぞれの持つ独自のネットワークだけでは、情報が市民全体に届くには、難しさがありません。

そこで、今回の「まちづくりラウンジ」参加の各者が持つネットワークの中で、配布や周知について、連携協力を図ることで、周知効果を高めていきます。

### 2 市を含めた事業の協力・連携の検討

事業やイベントの企画や実施にあたり、それぞれの強みを活かしながら協力・連携することで、その事業効果を引き上げることとなります。

今回の「まちづくりラウンジ」開催期間は短期間でしたので、今後も、連携できる場面を想定しながら、情報交換等を進めていきます。

## 委員の感想

### 小沢夕紀委員

このラウンジに参加して市民と甲府市との距離の近さを肌で感じ、市民の皆さんがさまざまな視点から私たちのまち「こうふ」に期待や希望を抱いていることを実感しました。

また、新たな視点を雇用や介護など今ある制度を利用するには様々な問題点があり、利用するには高いハードルがあったり、制度自体が周知されていなかったりするという意見を聞き、消防行政にも住民にとって周知不足や高いハードルがないだろうかと改めて住民目線で考えなければならぬと実感しました。

今期の活動を通して甲府市のように住民にとってさらに身近で期待される甲府地区消防本部であり続けるように努力していかなければならぬと心新たにしました。

### 落合洋子委員

この度「まちづくりラウンジ」に参加し、いろいろな分野での女性の活躍に感動しました。日頃、農業とは孤軍奮闘の場と感じていましたが、こんなにも女性として同じ考えを持つ方々がいることに勇気づけられました。

「女性農業委員になってくれる人が誰かいないか」と声ばかり上げるのではなく、次々回の委員改選を目指し、農業委員として活躍できる人材を育成したいと思います。まずは、農業委員の活動の場を気軽に見学できるように、委員会へ働きかけることから始めたいと思います。良い子育て、会社育て、地域育て、社会育て、全て根幹の部分は同じだと感じます。農業女性の視点をより広い世界で活用出来たら幸いです。この度のようなチャンスをお与え下さった多くの方々に感謝申し上げます。

### 小林和美委員

ラウンジに参加したことであらゆる分野・あらゆる立場の方のお話が聞け大変勉強になりました。回数や様々な話が進むにつれ、「やってできないことはないのではないか？」と前向きな錯覚を起こすことが何度もありパワーがある方々との交流を毎回楽しませていただきました。また担当として課題提起をする際には自分の業務や背景を皆さんに理解していただくためにはどう説明したらいいだろう、と自身を顧みる良い機会となりました。委員の皆さんとの関わりから今後女性の力がもっと発揮できる社会になる、そう確信できた会でもあります。ここで話し合われた自由な発想のアイデアが一つでも多く実現できたら嬉しいです。とても良いご縁がありましたこと感謝しています。ありがとうございました。

### 佐藤峰子委員

スポーツ推進員、体育協会役員、自治会長……いろいろな役を通して、地域と関わらせて頂いております。少子高齢化の問題もヒシヒシと感じているところです。また、児童クラブ支援員として、子供達、また、彼らを取り巻く環境の問題点も、いろいろと見てきました。

一方、若い子育て世代の父親の、家事への参加も増えてきていると、ほほえましく感じているところです。

今回、まちづくりラウンジに参加させて頂き、いろいろな分野で活躍されている皆様からのご意見に、とても刺激を受けました。

これからも、ますます、一人一人が活躍できる、よりよい社会になっていけるよう、こういった活動は、どんどん進めていって欲しいと思います。

この度は、本当に貴重な体験を、ありがとうございました。

### 杉山茜委員

もともと「男女平等」という言葉が存在することに疑問をもっていました。様々な業界で活躍されている方々の取組や問題点を教えて頂き、私は企業人として働くということが当然の義務であり権利であると、何ら疑問を持たない恵まれた環境で働いていることに気付きました。育児・介護と仕事を両立することの困難な現状、まだ女性参入が進んでいない分野があること、また、行政機関だけではなく民間機関の支援制度が多々あるのにも拘らず活用出来ていない方々が多い現状を具体的な事例を交えて知り得ることができ、参加回毎に一企業として、今後何が出来るか、何をすべきかを考えさせられました。私に直ぐに出来ることは先ず企業としてではなく、企業で働く女性として今回甲府市や委員の皆さんが取り組んでいることを一人でも多くの方に伝えること。そこからまた男女関係なく公正公平な職場作りをしていく和を広げていくことが役目だと考えています。

### 内藤香織委員

この度は「甲府まちづくりラウンジ」に参加させて頂き、多分野に渡る委員の皆様の素晴らしい活動を伺いました。現状を変えたいという情熱 **passion**。それを行動 **action** に移す力。その結果、社会全体のお役立つ大切な使命 **mission** を果たしていらっしゃる・・・

そんな強く、そしてしなやかな女性委員の皆様に出会えたことを心より感謝いたします。私共 NPO も「**passion action mission**」を合言葉に たくさんの失敗と挫折を繰り返しながらも、皆様のおかげで日々成長させていただいております。これからも、甲府市が笑顔でいっぱいになりますよう活動を続けて参りたいと思います。ありがとうございました。



### **長坂陽子委員**

各分野で活躍される方々と、女性が社会に出て働き続ける際の、様々な現状や課題について、本音トークで自由に意見交換ができた有意義な機会でした。職場あるある話に共感したり、雇用者と労働者、それぞれ立場からの意見に再認識することも多々ありました。前例がない、制度がない、男性優位といった環境の中でも、職責を果たすため、覚悟して踏ん張り、より良い働き方にチャレンジしている姿に勇気付けられる思いでした。

自己実現のため、生活の糧を得るため、働く理由は多様化しています。女性ならではのネットワークがゆっくり着実に広がり、次の世代も健やかに誇りを持って仕事を続けるために、自らの経験やスキルを惜しみなく伝え、互いに支え合い、元気に明るく活躍する地域づくりに繋がることを期待します。

### **永田奈美委員**

昨年、女性活躍推進優良事業として表彰していただいたことをきっかけに今回、委員に任命していただきましたが、はじめは内容が多い割には期間が少なく不安しかありませんでした。

人権男女参画課の方々や委員長さんをはじめ委員の皆さんの細かい準備や進行のおかげで、短い期間にも関わらず、会を重ねるたびに、新しい発見や気づきがあり、とても勉強になり、充実した時間を過ごすことができたことに感謝しております。これからも甲府市民として、そして甲府市の企業としても、甲府市の目指すまちづくりに微力ながらも協力できればと思っております。ありがとうございました。

### **山本亜希子委員**

私は、結婚を機に夫婦で都内から移住してきました。甲府へ移住してきて活性化につながる活動ができないか？と思っている時に委員へのお誘いのお話がありました。

在籍している マンマメルカートは女性と子供を応援する団体、得意な事を沢山持っている女性達、発表する場や生かす機会がない現状。また、これから得意な事を沢山見つける子供達が活躍する場づくりや学びの場の提供をしています。

そんな中、委員になり多方面で活躍している女性達との情報交換、それぞれが置かれている環境でのメリットとデメリットを知ることができました。このつながりを生かし女性ならではの発想力で甲府をより生きやすい地方都市へするお手伝いができたらと思います。

## 令和元年度まちづくりラウンジ委員

(五十音順)

氏 名	所 属 団 体 等・役 職 等	備 考
小 沢 夕 紀	公務員（甲府地区広域行政事務組合消防本部 消防司令補）	
落 合 洋 子	農業（ブドウ栽培）	
小 林 和 美	社会保険労務士小林和美事務所代表	副委員長
佐 藤 峰 子	甲府市千塚北町自治会長	
杉 山 茜	（株）森銀 常務執行役員	
内 藤 香 織	NPO 法人子育て支援センターちびっこはうす 理事長	
長 坂 陽 子	甲府市健康談話室所長	
永 田 奈 美	株）フォーチュン 取締役	
星 野 真 理	山梨英和大学顧問・講師	委員長
山 本 亜希子	NPO 法人マンマメルカート副代表理事	